

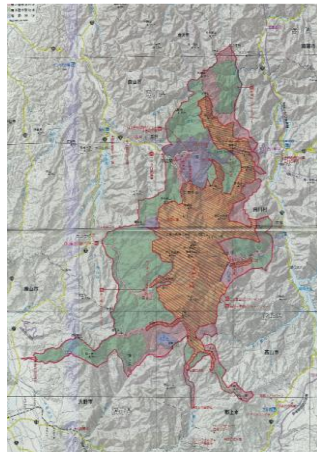
ユネスコエコパーク及びジオパーク等に係る国立公園の取組

ユネスコエコパーク



大台ヶ原・大峰山
(吉野熊野国立公園)

白山
(白山国立公園)



ユネスコエコパークは、生物多様性保全上重要な地域や、教育や研修、観光などの利用もできる地域が含まれており、国内では国立公園と重なる地域が多い。
ユネスコエコパークの保護担保措置となる国立公園の適切な保護管理を通じて、コアエリアを中心に価値の保全が図られている。
今後とも、生物多様性保全の観点からユネスコエコパークの推進に協力する。

ユネスコエコパークと国立公園
例：白山(白山国立公園)

ジオパーク



山陰海岸ジオパーク・鳥取砂丘
(山陰海岸国立公園)

島原半島ジオパーク・普賢岳
(雲仙天草国立公園)

国立公園は、重要な地形・地質についても優れた自然風景地を構成する要素として評価し指定されており、そのため、ジオパークの対象地が国立公園と重なることが多く見られる。
全国の国立公園では、ジオパークの取組と連携し、自然の保護と適正な利用の推進への取り組みを進めている。

ジオパークを支援する取り組みを実施

- ① 地形・地質的に重要な地域の保全推進
- ② ビジターセンターや標識の整備
- ③ 火山や地質をテーマにした環境学習・自然観察会開催
- ④ ジオパーク登録に向けた支援 など



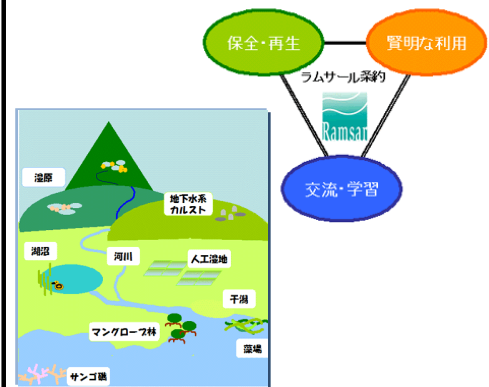
ラムサール条約湿地



釧路湿原
(国立公園)

与那覇湾
(国指定鳥獣保護区)

ラムサール条約は、国際的に重要な湿地とそこに生息・生育する動植物の保全と賢明な利用を進めるための条約であり、我が国はこの条約に基づき、国立公園や国指定鳥獣保護区等を保護担保措置として、現在46カ所をラムサール条約湿地として登録している。



国立・国定公園とジオパークの重なり

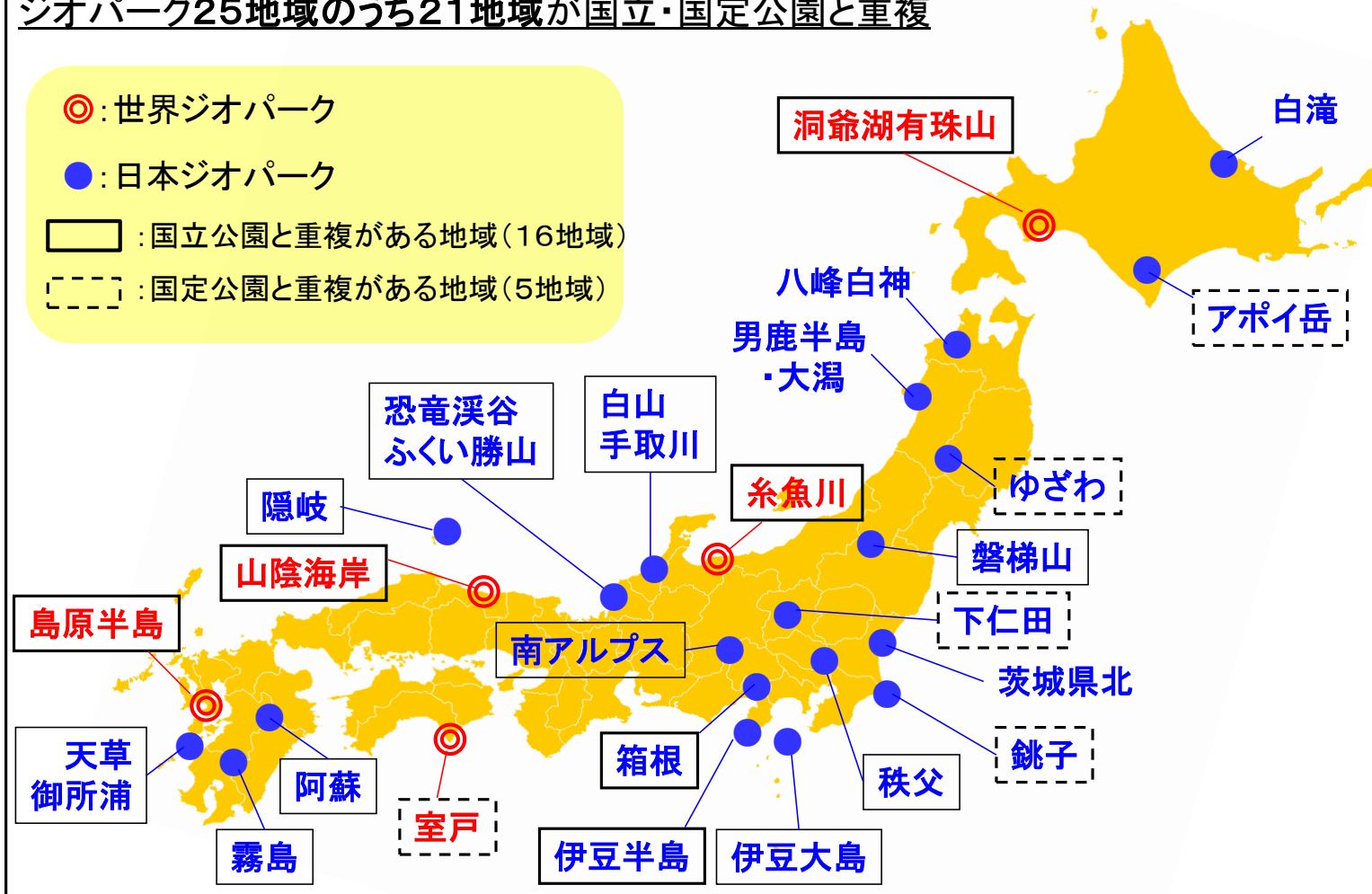
ジオパーク25地域のうち21地域が国立・国定公園と重複

◎:世界ジオパーク

●:日本ジオパーク

□:国立公園と重複がある地域(16地域)

□:国定公園と重複がある地域(5地域)



島原半島ジオパーク ～雲仙天草国立公園雲仙地域の事例～

① 地形・地質的に重要な地域の保全推進・・・国立公園指定による島原半島ジオパークジオサイトの保全

島原半島ジオパークでは、火山活動と断層活動、それらによって産み出された景観や文化、温泉等の資源、そして災害の歴史が見られる。ジオパークの中で重要な地形・地質が存在する地域（ジオサイト）は、雲仙天草国立公園雲仙地域に指定されており、適正な保全管理が行われている。



国立公園内のジオサイト（事例）



平成2年の噴火によってできた平成新山
：雲仙地域の核心地域であり国立公園の特別保護地区



眉山
：国立公園の第1種特別地域。寛政4年に発生した大地震によって発生した山体崩落が見られる。



雲仙地獄
：国立公園の第2種特別地域。噴気・噴湯等が見られる。

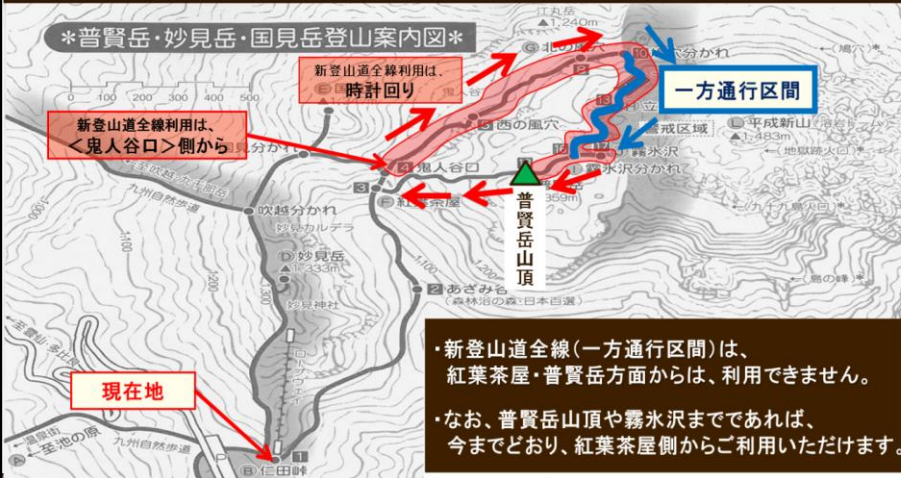
青枠内：島原半島ジオパーク

島原半島ジオパーク ～雲仙天草国立公園雲仙地域の事例～

② ビジターセンターや標識の整備 ……島原半島ジオパークコアエリアの整備

島原ジオパーク推進協議会との連携のもと、これまで平成新山の警戒区域として規制されていたルートを経済省が整備し、平成24年5月11日に開通した。有明海の大パノラマが眺望でき、平成新山や風穴など生きている火山を間近に楽しめるコース。島原ジオパークのコアエリア、ひいては島原半島の地域振興の起爆剤としての役割が期待されている。

新登山道全線利用の方は、鬼人谷口から時計回りのご利用をお願いいたします。



平成新山を間近に望む広場



風穴の特徴を利用し養蚕を行っていた様子を説明する標識 ↓



風穴

←標識の下に手を入れて風を感じる利用者

総合的な情報提供施設



島原半島ジオパーク ～雲仙天草国立公園雲仙地域の事例～

② ビジターセンターや標識の整備 …… 平成新山ネイチャーセンター、雲仙お山の情報館



平成新山ネイチャーセンター

火砕流で焼けた立木保存



普賢岳災害に伴う火砕流や土石流により一面焼け野原となった垂木（たるき）台地に環境省が整備した学習施設。

普賢岳噴火歴史パネルや地層標本等を展示。センター周辺には、普賢岳の景観展望地や避難シェルター、地層の展示場、火砕流で焼けた立木の保存地を整備。



雲仙お山の情報館

雲仙温泉街に環境省が整備した学習施設。

火山活動の歴史、その活動により形成された雲仙の景観・自然、雲仙温泉の歴史、登山コースなどを紹介。センター周辺には、雲仙地獄を観察できる園地を整備。

島原半島ジオパーク ～雲仙天草国立公園雲仙地域の事例～

③火山や地質をテーマにした環境学習・自然観察会開催・・・ビジターセンター等を活用したジオ教育

ビジターセンターを活用したジオ教育

環境省において整備した平成新山ネイチャーセンターや雲仙お山の情報館において、ジオパークの企画展や環境学習会を開催。

島原半島ジオパーク企画展 →
(雲仙お山の情報館)



↑ 地層標本を見る小学生
(平成新山ネイチャーセンター)

ジオツアーの開催

平成新山ネイチャーセンターや雲仙お山の情報館主催による、一般利用者を対象とした島原半島のジオツアーや企画イベントを開催。



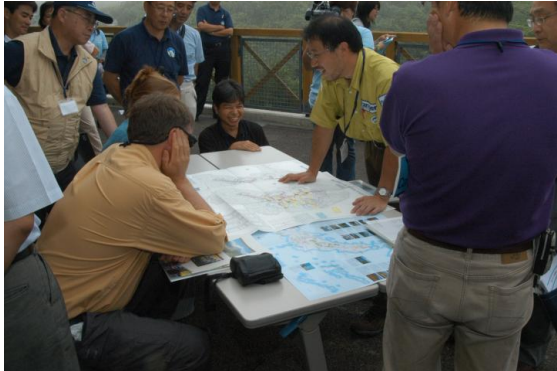
↑ あったか雲仙地獄・極楽ツアー
(12月のジオツアー)

↓ 雲仙地獄の地熱をコタツで体感



島原半島ジオパーク ～雲仙天草国立公園雲仙地域の事例～

④ 世界ジオパーク登録へのサポート



世界ジオパークネットワークの審査への対応に雲仙自然保護官も参加し、国立公園制度について説明。国との連携体制が評価された。

環境省の職員である雲仙自然保護官は島原半島ジオパーク推進協議会顧問、同幹事会幹事として、島原半島ジオパーク基本計画の策定やジオパーク運営などに参加している。

←世界ジオパークネットワークに説明を行う雲仙自然保護官

第5回ジオパーク国際ユネスコ会議運営への参加（平成24年5月12日～15日）

日本で初めて開催されたジオパークの国際会議。雲仙自然保護官が監事として会議運営に参加。



開会式



セッション

開会式には、環境副大臣が出席し、国立公園とジオパークとの連携した取組の推進を提案。また、九州管内の自然保護官が各セッションで発表。

環境省が整備した平成新山を身近に見る登山コースは、当会議に合わせてオープン。